

第
42
回

藤田医科大学橋渡し研究教育セミナー

再生医療の現在について

昨今、再生医療等安全性確保法下で行われるいわゆる再生医療の自由診療がさまざまな問題と
なっています。本発表では、再生医療等安全性確保法の概要や昨年の法改正後の課題と留意
点、自由診療の問題点等、再生医療の現状について解説します。

2026.10.15 木 16:30-18:00

オンライン形式 [Zoomウェビナー] 事前登録必要

事前
登録

聴講を希望の方は、右記二次元コードまたは下記URLより事前登録ください▶

https://us02web.zoom.us/join/register/WN_PJL9uHloSOuksCfHqmQ-sw



対 象

学内教職員・C-DAM参加大学 教職員

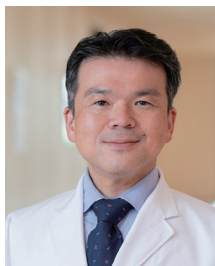
PM・StMを目指す方、実用化を目指すシーズ開発を行っている研究者

※ARO協議会プロジェクトマネジャー及びスタディーマネジャーの認定制度受講単位対象セミナーとして単位の取得が可能です。
Zoom事前登録の際、画面にてご希望の有無を登録いただき、ご希望の方には修了証を発行しております。

座 長

橋渡し研究統括本部 橋渡し研究シーズ探索センター

特任教授 菊地 佳代子



藤田医科大学 橋渡し研究統括本部
橋渡し研究支援人材統合教育・育成センター
特任教授

八代 嘉美 先生

Profile

1976年、愛知県生まれ。名城大学薬学部薬学科卒業。

東京大学大学院医学系研究科博士課程修了、博士(医学)。慶應義塾大学医学部生理学教室特任助教、京都大学iPS細胞研
究所特定准教授、神奈川県立保健福祉大学教授を経て2023年より藤田医科大学橋渡し研究支援人材統合教育・育成セン
ター教授。このほか慶應義塾大学 再生医療リサーチセンター 副センター長・特任教授、同医学部整形外科学教室訪問教授も兼
ねる。専門は幹細胞生物学、科学技術社会論。体性幹細胞の基礎研究や再生医療の実用化研究のほか、ポピュラーカルチャー
を題材にした生命科学の社会受容の研究を行う。著書に『iPS細胞 世紀の発見が医療を変える』(平凡社)など。訳書に『幹細胞
—ES細胞・iPS細胞・再生医療』(ジョナサン・スラック著、岩波書店)。

問い合わせ先

藤田医科大学 事務局 研究支援部 担当者:高木裕士 TEL:0562-93-2862 mail:c-dam@fujita-hu.ac.jp

主催:藤田医科大学 橋渡し研究統括本部

共催:先端医療開発コンソーシアム